

2020(令和 2)年度 事業報告

公益財団法人前川ヒトづくり財団

I. 目的

この法人は、若年労働力の減少と長寿命化さらには労働期間が長期化する社会にあって、勤労者が生涯にわたり現役で活躍するための能力開発と、高齢者が長年の経験と工夫により蓄積した潜在能力を活用できる環境の研究とその普及をもって、勤労者の生涯現役の推進と失われつつある共同体の再建及び日本社会の活性化に寄与することを目的とする。

II. 事業

この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 生涯現役に寄与する能力開発研究と生涯にわたる能力活用の場（ありよう）の研究の支援を目的とする助成。
 - (2) 生涯現役に寄与する能力開発と能力活用の場の普及・啓蒙を目的とする研修会の開催および情報の発信
 - (3) その他この法人の目的を達成するために必要な事業
- 2 前項の事業については、日本全国で行うものとする。

III. 事業内容

1. 生涯現役につながる能力開発研究と能力活用の場の研究の支援を目的とする助成
 - 1) 第2期(2019年度)研究助成事業の報告
 - ☆研究助成報告書の提出と研究助成報告会☆
 - 第2期(2019年度)研究助成報告書の提出期限は2020年5月29日(金)でした。18名全員期限内に提出していただきました。
 - 第2期研究助成報告会は2020年8月22日(土)に東京に集まり開催予定でしたが、コロナ禍のためZoomを使ったOn Line開催に切り替えました。一日で18名の発表を行うために2チームに分かれて同時進行とさせていただきました。Q&Aを含め一人25分のスケジュールで10時から発表が始まり、16時に終了しました。
 - 2) 第3期(2020年度)研究助成事業の報告
 - ☆研究助成者の募集と研究助成者の選考、承認☆
 - 第3期研究助成事業の募集は、大学への資料郵送、学会へのWeb資料送付、ホームページへの掲載で行いました。

助成者の募集は一般枠と特別枠の2つの枠組で2020年4月1日(水)から4月24日(金)まで行われました。一般枠テーマは「全ての人
が生涯生き生きと活躍するための生涯発達・生涯学習・生涯現役の場
の、支援にかかわる研究」で、特別枠テーマは「高齢者の就労及び実
践事例報告に関する研究」です。

申請は一般枠46名31,581千円、特別枠10名7,829千円、計56
名39,410千円でした。

選考委員会は2020年5月28日(木)にOn Line開催され、一般枠
14名6,680千円、特別枠2名1,000千円、合計16名、7,680千円
を選考しました。

承認は6月5日(金)On Line開催された理事会にて行われ16名、
総額7,680千円の助成がスタートしました。

この後の予定は2021年5月31日(月)に成果報告書を締め切り、8
月28日(土)及び29日(日)の2日間で成果報告会を開く予定です。

2. 生涯発達・生涯学習・生涯現役につながる能力開発と能力活用の場の普 及・啓蒙を目的とする研修会の開催と情報の発信

1) シンポジウム(広く一般に情報発信する)

開催は新型コロナ禍の影響で、当初の予定から7か月遅らせ2020年
2月とし、方法はZoom Webinarを用いたOn Line開催にいたしました。

基調講演はテーマ「高齢者から始まる働き方改革 AI/ICT を活用し
た働き方」を檜山敦先生に、続いてテーマ「兼業・副業の解禁とこれ
からの働き方に与える影響」を石山恒貴先生にお話しいただきました。
そのあとパネルディスカッションに移り、テーマ「AI・ICTを用いた
高齢者就労支援と兼業・副業の今後について」をお二人の先生に加え
BOSCA野口進一代表取締役に参加いただき三人で実践まで含めてお
話しいただきました。

はじめてのOn Line開催であることに加え、初めての2月28日土
曜日の開催ということで何人に参加いただけるか心配でしたが、結果
は北海道から九州まで幅広い地域から187名と期待以上の方に参加

いただきました。

2) ワークショップ（シンポジウム等の参加者との意見交換）

年初の計画ではシンポジウムの内容をさらに深める内容で2021年2月頃東京での開催を予定しましたが、検討が進まず来年度以降の課題になりました。

3) 季刊誌：プラチナニュース発行（財団活動の発信）

2020年4月 春号(第21号)発行：

2020年11月 「研究成果報告書 2019年度」発行：

プラチナニュースを発展・独立させ研究成果報告書といたしました。国際標準逐次刊行物番号 ISSN 2436-0279 を取得しました。国会図書館に2冊提出し、配布は財団の選考委員、理事及び評議員の他、研究助成者他です。

4) 大学や地方公共団体等からの講義や講演依頼

昨年度に引き続き、下期に十文字学園女子大学で「中高年期の心理臨床」の講義を行いました。学生の出席は密を避けるために出席は全体の半数に絞られ、残り半数は On Line 参加でした。

愛知県新城市の依頼により新城市生涯現役促進地域連携協議会にて、「企業における高齢者雇用のあり方について」をテーマに2020年9月16日に On Line 講演を行った。

3. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

その他事業の予定はありません。

以上